

書名：ラクラクわかる！一級ボイラー技士試験 集中ゼミ(改訂2版)

ISBN：978-4-274-22272-6

令和5年12月18日付 基発1218第1号「労働安全衛生規則及びボイラー及び圧力容器安全規則の一部を改正する省令の施行について」において、電気ボイラーの伝熱面積の算定方法が変更されました。

具体的には、従来は「電力設備容量20kWを1m²とみなして、その最大電力設備容量を換算した面積をもって算定する」とされておりましたが、この換算に用いる電力設備容量60kWを1m²とみなすことに変更されました。

つきましては、以下のとおり本改正に係る修正をお願い申し上げます。

頁数 位置	修正内容	
	旧	新
P. 244 3行目	電力設備容量20kWを1m ² として、…	電力設備容量60kWを1m ² として、…
P. 244 問2(1)	電力設備容量20kWを1m ² とみなして、…	電力設備容量60kWを1m ² とみなして、…
P. 245 問3(1)	電力設備容量20kWを1m ² とみなして、…	電力設備容量60kWを1m ² とみなして、…
P. 261 伝熱面積の 算出基準3	電力設備容量20kWを1m ² とみなして、…	電力設備容量60kWを1m ² とみなして、…
P. 261 計算例	$200 \div 20 = 10\text{m}^2$	$200 \div 60 = 3.3\text{m}^2$
P. 262 問1③	最大電力設備容量100kWの	最大電力設備容量300kWの
P. 262 問1解説③	$480 \times 1 + 100/20 \times 5 = 505\text{m}^2$	$480 \times 1 + 300/60 \times 5 = 505\text{m}^2$